

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	健康都市づくり関連事業(東区)			シート番号	213-015
担当部署名	東区役所	局 東保健福祉総合センター	部 東保健センター	課 評価責任者(課長名)	山本

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	4	スポーツと健康づくりの推進	無
	2	事業開始年度	平成 9 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	健康増進法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	老人保健法の制定後、市民の健康への関心を高めるためのイベントとして「保健所まつり」を実施してきた。平成18年度政令指定都市への移行に伴い、各区におかれた保健センターが、市民の健康づくりの拠点としての役割を担っている。平成9年の「健康都市堺」宣言、平成14年に健康増進計画の策定があり、ますます、健康づくりを推進する機運が高まっている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 (東保健センター) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input checked="" type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	東区民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	自発的な健康づくり意識を育成し、健康の保持増進・生活習慣病の予防を図り、健康寿命の延伸をめざす。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	東区民まつりと併設し、体験型健康チェックや健康相談、健康に関する啓発などを柱として、健康関連の情報提供を実施。体力測定コーナーを設置し、様々な年齢層に関心を持ってもらえるようにしている。また、東区の健康づくり自主活動グループなどの協力・連携のもと、市民協働事業として取り組んでいる。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他() 東区民まつり運営委員会				

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11 事業費 (a)	千円	650	650	650	650	650	650	650
主な事業費内訳	負担金	千円	650	650	650	650	650	650
		千円						
		千円						
		千円						
	財源内訳	千円						
	国・府支出金	千円						
受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
市債	千円							
その他(堺市民健康生きがいづくり基金繰入金)	千円	600	600	600	600	600	600	
一般財源	千円	50	50	50	50	50	50	
12 人件費 (b)	千円	2,460	2,460	2,460	2,460	2,430	2,430	2,460
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	3,110	3,110	3,110	3,110	3,080	3,080	3,110

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	健康都市づくり関連事業(東区)	シート番号	213-015
-------	-----------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

		令和元年度実績						
活動実績と成果	14	<p>●肺がん・結核検診(併設実施) 平成29年度から肺がん・結核検診を併設し、69人が受診。区民まつりが休日開催なので、保健センターが普段関わることの少ない就労している若年成人にも受診勧奨することができた。</p> <p>●自主活動グループの参加数の維持 健康に関する自主活動グループの参加数は、昨年度と同数を維持。 がん検診の受診勧奨、自主活動グループの紹介、活動紹介としてディスコン・おいでよ体操の活動体験などを自主グループメンバーが実施。</p>						
	15	参加人数	単位	人	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			目標値		5,000	5,000	5,000	5,000
			実績値		5,112	4,757	4,616	
			達成率		102%	95%	92%	
			評価		良い	普通	普通	
		算出方法・設定根拠など	健康づくり啓発を目的とする取り組みにおいて、その対象となる人数					
	16	協力自主活動グループ数	単位	グループ	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			目標値		9	9	9	9
			実績値		9	9	9	
		達成率		100%	100%	100%		
		評価		良い	良い	良い		
	算出方法・設定根拠など	市民自らが集い健康づくりを継続する活動を広く啓発するために、市民目線の情報提供が重要である						

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	参加人数	人	5,112	4,757	4,616
	②	上記①にかかる年間経費	千円	3,110	3,110	3,080
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	608	654	667
	備考(算出についての説明等)					
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

19	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>区民まつりと併催することにより、多数の参加人数が見込まれ、広く区民に健康づくりについて啓発できる機会となっている。</p> <p>市民自ら主体的に健康づくりを推進するため、自主活動グループが啓発活動を担っている。準備会議から積極的な姿勢が見られ、自ら健康づくりを推進しようという意欲が年々向上している。日頃から、常に市民とともに健康づくりを推進する取組が反映されていると考える。</p>
----	---

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	健康都市づくり関連事業(東区)	シート番号	213-015
-------	-----------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検(必要性・有効性・効率性)	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 様々な年代層が多数集まる区民まつりと併設することで、普段、健康づくりを意識しない方や保健センターの各事業に参加できない方にも、情報提供や啓発を行うことができる貴重な場となっている。肺がん・結核検診についても、初めて受診する人が通常の集団検診よりも多く、受診啓発の機会となっている。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 がん検診や健康づくりについて知る機会が減少し、生活習慣病やがんの罹患・悪化などのリスクが高まる。 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 体験型健康チェックを参加の動機として健康づくりに興味を持ってもらい、気軽に受けることができる肺がん検診を通じてその他のがん検診を啓発することで、市民の健康の保持増進を図ることができる。また、様々な年代層が多数集まる区民まつりと併設して実施することで、より効果的な啓発ができる。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 堺スタイルを最大限考慮して事業を実施する。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 大阪市・京都市・神戸市など近隣の多くの政令市が「区民健康まつり」などを開催している。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 区民が楽しく集い交流するイベントにおいて、参加者が自然に健康づくりを考え、意識できるような啓発が行えるよう、毎年地域の健康課題を見据えながら取り組んでいる。「健康クイズラリー」という手法も参加しやすく、イベント形態ともマッチしていると考えられ、様々な分野の健康づくりを学ぶ機会となっている。今後は、新しい生活様式に配慮しながら内容の改善について協議し、市民の健康意識の変化に即した実施内容としていく。		